

2023年度総合的な学習・探求教育法：最終完成版（公開用）の相互評価表

1 グループ名（ こーひー ）

2. 相互評価記入表

◆評価対象のグループ名（ こーひー ）（49 以下）（50～59）（60～79）（80～89）（90～100）

	1 (不可)	2 (可)	3 (良)	4 (優)	5 (秀)
発表作品（調査分析）の方法と結果					○
発表作品の構成					○
発表作品の内容					○
発表作品の表現					○
発表作品のわかりやすさ					○

感想（課題を中心に、よいところも）

スライドに関してはまだまだ改良をする事のできる点が合ったのではないかと考えました。しかし、限られた時間の中で、できる事としては結構なんとか頑張ったと思います笑

発表については途中省略してしまった部分があったり、図表について見づらいところなどあったので、その点を改良する必要が合ったと考えます。

コピペミスや参考文献が若干抜けていたが、全体的によくできていたと思う

◆評価対象のグループ名（まいまい）（49 以下）（50～59）（60～79）（80～89）（90～100）

	1 (不可)	2 (可)	3 (良)	4 (優)	5 (秀)
発表作品（調査分析）の方法と結果					○
発表作品の構成					○
発表作品の内容					○
発表品の表現					○
発表作品のわかりやすさ					○

感想（課題を中心に、よいところも）

最終的に自己分析をして、AIを使用する方向になったことで、総合の時間としてとても良いと考える。また、総合の時間に対して多くの時間を避ける学校以外でもこのような方法で授業を行う事でキャリア教育にも繋がると考えるため良いと考える。ただ、自己分析メインになる事で、AIの雰囲気小さくなるのではないかと考えた。模擬授業がとてもわかりやすく、とても楽しそうだったのでやってみようと思った。また、AIに書いてもらった絵等を掲載する事で、AIと私生活のつながりを感じやすくなり良いと感じた。

◆評価対象のグループ名（りんちゃん）（49 以下）（50～59）（60～79）（80～89）（90～100）

	1 (不可)	2 (可)	3 (良)	4 (優)	5 (秀)
発表作品（調査分析）の方法と結果					○
発表作品の構成					○
発表作品の内容					○
発表作品の表現					○
発表作品のわかりやすさ					○

感想（課題を中心に、よいところも）

発表の中で、スライド枚数が多い事もあるが、より言いたい事を主張する事ができるように情報を厳選しておく必要があったと考える。内容としては、新しい発見が多く、スライドもとてもまとまっていたのでとても良かったと考えました。パワポが可愛くてみやすい。知らない単語の解説があり、とてもわかりやすい。全体的にパワーポイントが見やすく良かった。章でみても全体で見ても流れがわかりやすくとても良いと思う。

★来年度の受講生へのアドバイスを

この講義では総合的な探求として0から1を生み出す力をつける事ができると思います。これまでの学習の中では分野や探求の内容まで決定された状態で探求をする事が多かった(というかこれしか無い)と思いますが、この授業では本当に自由に探求したい事を探求する事ができます。何を探求したいのかどのような方向性で探求していくのか、簡単に感じるかもしれませんが0から1を作り出す事は結構大変でした。普段の生活で気になっている事、自分の関心、興味に精一杯耳を傾けて探求をしてみてください。

また、1から2や3を作り出す過程を先生方とともにいき、探求についての理解を深めてみてください。これまでの学習では得る事ができなかった体験が在ると思います。

★来年度の受講生へのアドバイスを

この講義は自分の専門外のことを調べることになるのでとても大変です。また、自分がこれまで気にしていなかった分野であったりもします。自分で調べ学習をしたり、アンケートを取ったり、先生から頂いた膨大な資料を読むことをしなくてはなりません。しかし、調べ学習をしっかりと行い、情報を吟味し、自分の意見を持つことでより先生との協議を深く行うことができるようになります。また、グループワークなので、グループのメンバーと話あって行くことでより良いパワーポイントが作れるようになると思います。授業外の課題がとても多いので、自分のスケジュールを確認しながら、グループメンバーとのすり合わせを行うようにしましょう。

この講義で自分の知識量が増加し、批判的に物事を見る力が身につくようになります。この授業で身についたことは今後も役に立つと思うので、頑張ってください。